

# 彙 報

## 研究活動等 (2014年1月～2014年12月)

### 総合政策学科

#### 澁谷 彰久

##### 1. 報告書・判例研究

- (1) 単著 (2014年3月) 「高齢者への見守りと地域連携の総合的研究Ⅱ－金融機関と後見制度について－」  
山梨県立大学地域研究交流センター 2013年度研究報告書 (総44頁)
- (2) 単著・編者 (2014年11月) 「弁護士の前金と預金の信託的構成－最高裁平成15年6月12日第一小法廷判決 (民集第57巻6号563頁)－」  
編集代表 新井誠『信託法実務判例研究』有斐閣 (23～32頁・総460頁)

##### 2. 研究助成・その他

- (1) 共同 (2014年2月) 公開講座「市民後見人スタートライン教室」(山梨県立大学平成25年度COC事業講座)  
企画・コーディネーター・司会を担当。
- (2) 共同 (2014年3月8日) 民事信託研究会主催シンポジウム (三菱UFJ信託奨学財団助成事業)  
テーマ: 「わが国信託法判例の動向と実務」  
企画・司会を担当。
- (3) 単独 (2014年4月) 日本学術振興会科学研究費 基盤研究C (一般)  
継続採択 (研究代表) テーマ: 「地域における成年後見人の役割と法的課題の研究」
- (4) 共同 (2014年4月) 三菱UFJ信託奨学財団平成26年度研究助成案件  
テーマ: 「民事信託の理論と実務の総合的研究」継続採択 (研究総括・事務局担当)

- (5) 単独 (2014年7月25日) 日下部経営者クラブ講演会  
テーマ: 「地域における人材育成と大学の役割」講師
- (6) 共同 (2014年11月) 公開講座「やまなし市民後見人養成講座 (第1期)」(山梨県立大学平成26年度COC事業講座)  
企画・コーディネーター・講演・司会を担当。
- (7) 単独 (2014年11月7日) 山梨県立甲府西高校講義  
テーマ: 「国際政策学部とは?－これからの大学と社会－」講師
- (8) 単独 (2014年11月25日) 看護学研究科在宅看護学特論Ⅲ講義  
テーマ: 「成年後見制度と在宅看護」講師

#### 熊谷 隆一

##### 1. 論文

- (1) 「自治研活動へのいざない－これからの自治体労働者と自治研」(『月刊自治研2014年4月号』(自治研中央編集委員会編集、(株)自治労サービス発行) pp.25-31)

##### 2. 講演 (単独)

- (1) 日本大学大学院理工学研究科博士前期課程における講義  
博士前期課程科目 景観地理学特論1 (前期)  
テーマ: 「甲府のまちづくりの実践－甲府都市空間調査からの課題と展望－」  
日 時: 2014年7月18日(金) 13:00-14:30, 14:40-16:10 (180分)  
場 所: 文理学部8号館1階レクチャーホール
- (2) 日本大学大学院理工学研究科博士後期課程における講義  
博士後期課程科目 人文地理学調査法1 (前期)  
テーマ: 「行政に対する実践的調査・ヒヤリ

ングの方法を学ぶ」

日 時：2014年7月18日(金)

16:20-17:50 (90分)

場 所：文理学部8号館4階 407研究室

### 3. 報告書(編著)

(1) 「よつびし総研プレゼンツ 甲府!おもてなしBOOK」(文部科学省「地(知)の拠点事業(大学COC事業)」による地域貢献活動、2014年2月28日発行)

(2) 「2013年度よつびし総研 活動報告書」(文部科学省「地(知)の拠点事業(大学COC事業)」による地域貢献活動、2014年3月26日発行)

### 4. その他

(1) 社会的活動(アドバイザー)  
「四菱まちづくり総合研究室」教員顧問団幹事(2007年4月14日～、継続)

(2) 社会的活動(委員会委員)  
「甲州市行政改革推進委員会」会長(2012年9月～2014年9月)

(3) 社会的活動(学会理事)  
富士学会理事(2009年4月1日～、継続)

(4) 社会的活動(研究員)  
(株)神奈川県地方自治研究センター特別研究員(2005年4月～、継続)

## 安達義通

### 1. 論文

単著(2014年3月) 'Examining the transnationality and applicability of Nonaka's theory in the 'actual' context of the West' (『山梨国際研究』(山梨県立大学国際政策学部紀要第9号・研究ノート))

### 2. 講演他

講演「地域振興を考える ～韮崎市の現状を踏まえて～」(韮崎市市議会議員夏季研修)(2014年8月)

### 3. 社会的活動(委員、コーディネーター等)

(1) 審議会委員(会長) 韮崎市第6次長期総合計画(韮崎市企画財政課)(～2014年3月)

(2) 委員(委員長) 平成26年度事務事業外部評

価委員会(韮崎市企画財政課)(2014年9月)

(3) 幹事委員 やまなしコミュニティビジネス推進協議会(2014年1月～12月)

(4) 企画運営委員 キャンパスネットやまなし(山梨県生涯学習文化課)(2014年6月～)

(5) やまなし地域協働WG委員 大学コンソーシアムやまなし(2014年7月～)

### 4. その他

甲府ヘリテージ発掘事業HP作成(COC事業)

## 石山 宏

### 1. 著 書

(1) 『検定簿記講義/2級商業簿記<平成26年度版>』(共著)中央経済社, 90頁-103頁, 149頁-203頁, 261頁-262頁, 269頁-277頁, 2014年2月。

(2) 『IFRSにおける資産会計の総合的検討』(共著) 税務経理協会, 81頁-92頁, 2014年9月。

### 2. 学術論文

「出版業の簿記実務」日本簿記学会第30回全国大会(神戸大学)簿記実務研究部会(部会長:成川正晃氏)『業種別簿記実務の研究』最終報告, 27頁-34頁, 2014年8月。

### 3. 研究ノート

「棚卸資産会計のコンバージェンスー低価法採用と後入先出法廃止にかかる論点」『山梨国際研究』第9号, 118頁-126頁, 2014年3月。

## 大西康雄

### 1. 論文

(1) マクルーハンとはデジタルメディアの夢を見たか:マクルーハンの「ホット/クール」メディア概念再構成の試み(単著)『山梨国際研究』9:11-24, 山梨県立大学国際政策学部 2014.3

### 2. 社会貢献

(1) 山梨県立都留高等学校「2年次キャリア教育II」出前講義講師 2014.7.11

## 玉井 亮子

### 1. 学術論文

- (1) 単著「フランス地方自治体における公務員の「移動」」『法と政治』65(2), 283-317, 2014年。

## 二宮 浩輔

### 1. 論文等

- 『国際交流活動を通じた地域資源の発掘と活用－山梨県とカリフォルニア州における実験的研究－』、「山梨国際研究」第9号、2014年3月、pp.156-165

### 2. 学会報告等

- 『JICA 環境社会配慮ガイドラインの成果と課題』日本経済政策学会第71回全国大会、2014年5月24-25日、於神戸大学
- “Discovery and Utilization of Potential Local Resources in Yamanashi Prefecture, Japan” ASPAC (Asian Studies on the Pacific Coast) Annual Conference at Western Washington University, Bellingham WA, 20-22/June/2014
- 『国際機関の環境社会配慮に見るJICAガイドラインへのインプリケーション－世界銀行の取り組みを中心として－』環境アセスメント学会第13回大会、2014年9月20-21日、於千葉大学

### 3. その他

- 国際協力機構(JICA) 環境社会配慮助言委員会委員
- 環境アセスメント学会環境社会配慮研究部会長  
ほか

## 箕浦 一哉

### 1. 論文

- (1) 単著(2014年10月)「道路景観保全活動における市民との協働が地方自治体職員の認識と行動に与える効果－「八ヶ岳南麓風景街道の会」を事例に－」『土木学会論文集G(環境)』, 70(6), II\_267-II\_278.

### 2. 学会発表

- (1) 単独発表(2014年7月)“Children in Nishijin: The Soundscape of Weaving Noises and the Educational Practices of an Elementary School Teacher in 1960s Kyoto”, Symposium Invisible Places, Escola Superior de Educacao de Viseu (ヴィゼウ, ポルトガル).

### 3. その他

- (1) 研究会での報告(2014年2月)“Location, Time, and Classification: Three basic things to be discussed in application of TM charts”, Workshop “The TM chart: A graphical (visual) representations of sounds”, 於・LAM(パリ第6大学・ダランベール研究所・音楽音響グループ)
- (2) シンポジウムでの講演(2014年7月)“Life with Weaving Noises in Kyoto: Soundscape and Its Social Context”, Symposium sense of sound, Bradwolff Projects, Amsterdam.
- (3) シンポジウムでの講演(2014年11月)「美しい風景を考える～ヨーロッパと日本～」, シンポジウム「北杜の魅力再発見」, 主催:「北杜の魅力再発見」講演会実行委員会, 須玉ふれあい館ホール(北杜市).

## 森田 玉雪

### 1. 論文

- ・森田玉雪, 山本公香, 馬奈木俊介(2014)「キャリア教育政策の効果分析」, 『山梨国際研究: 山梨県立大学国際政策学部紀要』, 第9巻, pp. 70-84.
- ・Sato, Ryuzo and Tamaki Morita (2014) “Quantity or Quality: The Impact of Labor-Saving Innovation on US and Japanese Growth Rates, 1960-2004,” in Ryuzo Sato and Rama V. Ramachandran eds, *Symmetry and Economic Invariance*, 2nd enhanced ed., pp. 177-208, Springer. (Revised edition of *The Japanese Economic Review*, Vol. 60, Issue 4, pp. 407-434.)

## 2. 外部資金研究

- ・科学研究費補助金（基盤研究(B)），2014～2017年度，研究代表者．課題番号26285057「エコプロダクツの貿易自由化が生み出す効率性と多様な軋轢の経済分析」

## 3. 研究会報告

- ・2014年3月「東日本大震災後のエネルギー・ミックス—電源別特性を考慮した需要分析—」，関東環境経済学ワークショップ，早稲田大学

## 4. その他

- ・政策研究大学院大学 政策研究科 非常勤講師（教育政策分析演習 I，特定課題研究）
- ・独立行政法人経済産業研究所「原発事故後の経済状況及び産業構造変化がエネルギー需給に与える影響」研究会メンバー
- ・山梨地方最低賃金審議会委員
- ・山梨地方労働審議会臨時委員
- ・杉並区学校運営協議会委員

## 佐藤正幸

### 1. 研究発表

#### 1.1 論文

- (1) 「明治初期の英語導入に伴う日本語概念表記の変容に関する研究」『山梨国際研究』第9号、pp.25-36。
- (2) 「大学と高等学校における歴史教育の非連続とその歴史文化的背景」『大阪大学歴史教育研究会成果報告書』第10号、pp.133-142.

#### 1.2 学会発表

- (1) “Printed World Map and Transformation in Our Image of the World,” The International Meeting of the Book History, Yamanashi Prefectural University, 25 May.
- (2) 「日本型歴史文化における歴史教育の位置」大阪歴史教育研究会、大阪大学、6月21日。
- (3) “The Transformation of the Concept of History in 19th Century Japan,” The International Study Session on Confucianism in East Asia, Robinson College, Cambridge U.K., 3 September.

- (4) “Chinese Characters and its Power for Creating Neologism” The International Conference on Basic Concepts of Historical Thinking Toward an Intercultural Discourse, Beijing University, Beijing, China, 23 October.

### 1.3 学会役員

- (1) Ex Officio (as Past President) of the Board of the International Commission for the History and Theory of Historiography (2010-2015).
- (2) Editorial board member of the Berghahn series Making Sense of History.
- (3) Advisor of the Chinese Academy of Social Sciences Project Contemporary International Historiography.
- (4) 国際学術雑誌*Historiein* 査読委員。

### 2. 社会的活動等

- (1) 甲府ロータリークラブ青少年委員長。
- (2) 野口賞選考委員会委員（2014年4月—2015年3月）。
- (3) 南アルプス市地域雇用創造協議会で、「南アルプス市における農業6次化」についての講演（5月12日）。

### 3. 競争的研究資金

- (1) 平成24年度科学研究費：基盤研究B「認識方法としての歴史と規範としての歴史に関する国際的総合研究」（平成22年—26年度、研究代表者：佐藤正幸）。

## Peter Mountford

### 1. 論文

- (1) 単著（2014年3月）Tristram Shandy: a 21st-century reader's perspective（山梨県立大学国際政策学部紀要『山梨国際研究』第9号）

### 2. 講演その他

- (1) イギリス言語文化講座教師（2014年2月12日）  
於：山梨県立大学飯田キャンパス

- (2) 教員免許更新講習（小学校外国語活動）講師（2014年8月8日）  
於：山梨県立大学サテライト教室
- (3) 小学校英語教育に関して研修会（2014年11月10日）。講師：Brian Byrd・藤原真知子  
於：山梨県立大学飯田キャンパス

## 国際コミュニケーション学科

### 吉川 豊子

#### 1. 論文

- 「文学館所蔵佐佐木信綱宛大塚楠緒子書簡について(一)——居住地・結婚・『すみれ会』」  
『日本近代文学館年誌9』(2014年3月刊)  
P.24～P.59

### 張 兵

#### 1. 著 書

- (1) 『進化する中国の改革開放と日本』(単著)  
時潮社2014年4月  
(2) 『中国の穴場めぐり』(共著) 日本僑報社  
2014年6月

#### 2. 論 文

- (1) 「中国(上海)自由貿易試験区の設立に関する考察」山梨県立大学国際政策学部紀要『山梨国際研究』第9号2014年3月  
(2) 「日本における王漁洋研究の現状と展望」  
山東省古典文学学会『王漁洋生誕380周年記念シンポジウム論文集』2014年8月

#### 3. 学会発表、講演、特別講義

- (1) 「東京大都市問題解決策とその効果について」都市問題国際シンポジウム2014年5月15日中国北京  
(2) 「グローバル化論」甲府第一高校特別講義  
2014年6月7日山梨県立大学  
(3) 「日本における王漁洋研究の現状と展望」  
山東省古典文学学会王漁洋生誕380周年記念シンポジウム2014年8月23日中国山東  
(4) 「世界と日本・山梨のつながりを考える」  
身延高校特別講義2014年11月10日山梨県立大学  
(5) 「孔子の故郷と日本」JCC(日本宋慶齡基金会)第25回中国講座2014年11月29日八王子市生涯学習センター  
(6) 「日本人の食はどう変わったのか:食料自給率の歴史」甲府南高校特別講義2014年12月12日甲府南高校

#### 4. 社会貢献

- (1) NPO法人宋慶齡基金会日中共同プロジェクト委員会理事(第7期:2014-2015年度)  
(2) 山梨県富士山五合目インフォメーションセンター通訳案内士(2014年7月～9月)

### 二戸麻砂彦

#### 1. 学術論文

- (1) 単著「節用文字の仮名音注」(山梨県立大学国際政策学部紀要第9号 pp.085-104、2014年03月)

### 前澤 哲 爾

#### 1. 原稿執筆

- (1) 地域戦略総合センター「農家民泊やまなしフォーラム報告書」

#### 2. 地域プロジェクトの実施

- (1) 大学広報誌「Souffle」編集部  
第4号の取材・編集を行う。1月31日中央病院、2月2日富士川町、3日富士川町、6日大月市・河口湖町、21日アリア、25日前期入試などを取材・撮影。3月14日発行。  
第5号の企画・取材を行う。

#### (2) 農家民泊プロジェクト(創造学自主ゼミ)

- 毎週火曜日昼休み・定例ミーティング、2月11日「ぶどうばたけ」取材、2月27日「農家民泊やまなしフォーラム」開催、6月25日富士川町民会館「農家民宿意見交換会」、8月11日～12日長野県庁・新潟県庁取材、12月13日～14日農家民宿第3号山口宅で勉強会。

#### 3. 理事、委員などの活動

- (1) 山梨県立大学「キャリアサポートセンター」センター長(14年4月～)  
(2) NPO「政策学校 一新塾」理事・講師(02年10月～)  
(3) 「現代美術センターCCA北九州」評議員(05年4月～)  
(4) NPO「先端芸術クリエイティブ・センター」理事長(10年5月～)  
(5) 台東区「東京ダウタウン・アートサポート懇談会」副座長(07年4月～)

- (6) 「したまちコメディ映画祭 in 台東」実行委員会委員 (08年1月～)
- (7) 山梨県「国民文化祭実行委員会」企画委員 (～14年3月)
- (8) 山梨県「やまなし文化力・つなげる会議」委員 (14年6月～)
- 4. 講演・パネラーなどの活動
  - 2月21日 NOSAI会館「山梨県農業会議・農家民泊」講師
  - 2月27日「農家民泊やまなしフォーラム」企画・運営
  - 3月3日 甲府南公民館「甲府市農業委員会セミナー」講師
  - 3月25日 地域戦略総合センター「COCプロジェクト報告会」発表
  - 4月18日 相模原市藤野町「農家民泊を知ろう！」講師
  - 5月25日 東京・韓国YMCA会館「一新塾卒塾式・活動報告」コメンテーター
  - 6月25日 富士川町民会館「農家民宿意見交換会」コーディネーター
  - 8月21日 東京・一新塾「地域プロデューサー養成講座」講師
  - 10月15日 甲府昭和高校「カンヌ映画祭～国際コミュニケーションの現場」講師
  - 10月29日 韮崎高校「映画で人生を変えた」講師
  - 11月9日 東京・韓国YMCA会館「一新塾卒塾式・活動報告」コメンテーター
  - 11月19日 山梨広告協会セミナー コーディネーター
  - 11月25日 中村和男氏記念講演会 コーディネーター

## 吉田 均

### 1. 著作 (計5件)

#### (1) 論文 (2件)

- 1) 佐藤文昭、八代一浩、吉田均、2014、「地域を指向した実践教育活動支援システムの構築」、『教育システム情報学会研究報告』Vol.28, No.6 (2014-3)
- 2) 八代一浩、佐藤文昭、吉田均、2014、「サー

ビス・ラーニングにおけるモバイルポートフォリオシステムの構築と実践」、『教育システム情報学会研究報告』, Vol.28, No.6 (2014-3)

#### (2) そのほか (計3件、下記は例示)

- 1) 山梨県立大学地域戦略総合センター、2014、「やまなし地域の再生と活性化の拠点づくりに向けて (平成25年度文部科学省地 (知) の拠点整備事業年度報告書)」、2014年4月
- 2) 吉田均、2014年、「時標 インドネシア人誘客に先見性」、『山梨日日新聞』、2014年8月31日。

### 2. 発表・講演 (計11件)

#### (1) 国際会議 (計2件、下記は例示)

- 1) 吉田均 (コーディネーター) 他2名 (2014年12月12日)、「日韓相互理解フォーラム：第1セッション 日韓両国の平和 今私たち大学生ができること」『JENESYS2.0 韓国忠清北道大学生訪日教育旅行団 山梨県立大学日韓交流プログラム』外務省、日韓文化交流基金、山梨県、山梨県立大学

#### (2) 講演会など (計9件、下記は例示)

- 1) 吉田均 (2014年2月27日)、「四川省の温泉を活用した観光産業振興による被災地復興事業－山梨県における成果を中心として－」『JICA 草の根技術協力事業調査報告会』、国際協力機構 (JICA)
- 2) 吉田均 (2014年6月12日)、「インドネシア人観光客向け着地型観光」『第4回経済財政に関する山梨コンファレンス』、財務省関東財務局甲府事務所

### 3. 社会貢献 (計6件)

#### (1) 公設委員会など (計6件、下記は例示)

- 1) 「平成26年度地 (知) の拠点整備事業選定委員会」ペーパーレフェリー、文部科学省、平成26年度。
- 2) 「第2次甲府市観光振興基本計画研究会」委員 (会長)、甲府市、平成26年度。

## 伊藤ゆかり

### 1. 論文

- (1) 単著 (2014年3月) 「ケネディ劇における劇中劇」、山梨県立大学国際政策学部紀要『山梨国際研究』第9号、pp.1-10

### 2. その他

- (1) 教員免許更新講習選択講座「外国語活動」講師 (2014年8月8日、於 山梨県立大学)
- (2) 山梨県高等学校商業教育研究会 英語スピーチコンテスト審査 (2014年10月21日、於 甲府市クラウンパレスホテル)

## 高野美千代

### 1. 論文その他

#### 論文

- (1) 単著 (2014年3月)  
「Laurence Sterneの蔵書カタログにおける書籍商の方略」山梨県立大学国際政策学部紀要『山梨国際研究』第9号、37～46頁

#### 研究ノート

- (1) 共著 (2014年3月)  
「小学校英語外国語活動における小中連携の課題と方法」山梨県立大学国際政策学部紀要『山梨国際研究』第9号、139～150頁

#### 口頭発表

- (1) [単独] “Connected by a Book: Francis Sandford and *A Genealogical History of the Kings of England and Monarchs of Great Britain*(1677)” 科研費による書物受容の歴史に関する国際研究集会 (2014年5月27日(火) 於 談露館(甲府市))

### 2. 研究活動

#### (1) 科研費による研究交流

「書物受容の歴史に関する国際研究集会」平成26年5月27日、講師:佐藤正幸教授(山梨大学名誉教授)、ジョー・スタレット氏(デンマーク オーフス大学准教授) 実施運営

- (2) 地域研究交流センター共同研究「山梨県の小学校における『外国語活動』の効果的運営に関する実践的研究」による「外国語活動」第1回研究会実施運営(講師:Dr. Brian

Byrd, 藤原真知子氏)(2014年11月10日、於 山梨県立大学)

### 3. 社会活動その他

- (1) 教員免許更新講習選択科目「外国語活動」実施運営 (2014年8月8日、於 山梨県立大学)
- (2) 山梨県高等学校商業教育研究会英語スピーチコンテスト審査 (2014年10月21日、於 甲府市クラウンパレス)

## 名和敏光

### 【著書】

1. 主編『出土文献と秦楚文化』第7号、2014年3月、121頁、科研費報告書。
2. 共著『術数学の射程—東アジア世界の「知」の伝統—』、京都大学人文科学研究所、2014年3月、231頁。
3. 共著『地下からの贈り物』、東方書店、2014年6月、363頁。
4. 共著『古代東アジア世界の祈り』森話社、2014年9月、336頁。

### 【論文】

1. 「馬王堆漢墓帛書《陰陽五行》乙篇の構造と思想2」『術数学の射程—東アジア世界の「知」の伝統—』、京都大学人文科学研究所、2014年3月、単著、78～91頁。
2. 「国立歴史民俗博物館所蔵『日野家代々年号勘文応保度至応安度』影印・翻印篇」『国立歴史民俗博物館研究報告』第186集、2014年3月、共著、233～257頁。
3. 「清華簡『傳説之命』(中) 訳注」『出土文献と秦楚文化』第7号、2014年3月、共著、73～98頁。
4. 「馬王堆」『地下からの贈り物』、東方書店、2014年6月、単著、234～239頁。
5. 「“采”字攷」『第2回世界漢字学会論文集』、2014年8月、単著、243～252頁。
6. 「中国古代の占いと祈り」『古代東アジア世界の祈り』森話社、2014年9月、単著、247～263頁。



7. 「日本藏医学漢籍与新發現医書簡介」『中医学雑誌』第25卷特刊第2期(台湾)、2014年12月、単著、187～196頁。
8. 「帛書《春秋事語》の成立与時代小考」『紀念馬王堆漢墓發掘四十周年國際學術研討會論文集』(中国)、2104年12月、単著。

## 【招待講演】

1. 「“宀”字攷」第2回世界漢字学会(於福岡)、2014年8月26日、単独。
2. 「北京大学藏秦簡“数”研究」北京大学藏秦簡“数”研読会(於北京大学)2014年9月17日、単独。
3. 「中国の占術と日本の占術」東アジア伝統科学研究の新たな地平(上海交通大学)、2014年9月24日、単独。  
<http://www.sjtu.edu.cn/info/1763/61245.htm> 参照。
4. 「馬王堆漢墓帛書の整理状況と『陰陽五行甲・乙篇』の新たな釈文について」京都大学人文科学研究所術数学研究班、2014年10月4日、単独。
5. 「帛書《春秋事語》の成立与時代小考」紀念馬王堆漢墓發掘四十周年國際學術研討會(於湖南省長沙市)、2014年12月12日、単独。

## 【獲得資金】

1. 研究代表者、日本學術振興会科学研究費補助金(基盤研究C、研究課題番号:25370047、研究協力者:武田時昌(京都大学人文科学研究所教授))「中国方術理論の遡及的考察」、2013年4月～2016年3月。(継続)  
<http://kaken.nii.ac.jp/d/p/25370047.ja.html> 参照。
2. 研究協力者、日本學術振興会科学研究費補助金(基盤研究B、研究課題番号:25370047、研究代表者:谷中信一(日本女子大学教授))「マルチディシプリナリーアプローチによる戦国秦漢期の新出土資料の総合的研究」、2014年4月～2016年3月。(新規)  
<http://kaken.nii.ac.jp/d/p/26284010.ja.html> 参照。

## 【国際学会参加等】

1. 北京大学藏秦簡・漢簡調査、2014年8月18～24日、於北京大学、科研費。
2. 第2回世界漢字学会、2014年8月25～28日、於福岡。
3. 北京大学藏秦簡“数”研読会、2014年9月18～19日、於北京大学、科研費。
4. 復旦大学訪問及び学术交流、2014年9月16～20日、於復旦大学、科研費。  
[http://www.gwz.fudan.edu.cn/SrcShow.asp?Src\\_ID=2338](http://www.gwz.fudan.edu.cn/SrcShow.asp?Src_ID=2338) 参照。
5. 東アジア伝統科学研究の新たな地平、2014年9月20～25日、上海交通大学、科研費。
6. 紀念馬王堆漢墓發掘四十周年國際學術研討會、2014年12月10～17日、於湖南省長沙市、科研費。

## 【学会役員・その他】

1. 中国出土資料学会会長、2014年4月1日～現在。
2. 日本道教学会評議員、2014年1月1日～現在。
3. 東京大学東洋文化研究所研究班「中国古代文献の成立に関する多角的研究」研究員、研究代表者:小寺敦准教授、2009年4月1日～現在。  
<http://www.ioc.u-tokyo.ac.jp/project/group.html> 参照。
4. 京都大学人文科学研究所術数学研究班「術数学—中国の科学と占術」研究員、研究代表者:武田時昌教授、2011年4月1日～現在。  
<http://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp/~takeda/> 参照。

## 平野和彦

1. 国際学会口頭発表
  - (1) 「用漢語来讀村上春樹文学—試探村上思想所構成的“生”」(大連外国語大学『東北亜外語研究』編集部主催『莫言与村上春樹比較研究國際學術研討會』・2014年10月17、18、19日・於中華人民共和国大連外国語大学國際文化交流中心承志楼601講堂

## 2. エキシビション

- (1) 春季秀作展出品 ギャラリーロア 2014.4.25-4.30
- (2) 風景画展出品 ギャラリーロア 2014.10.24-10.29

## 3. その他

- (1) 論文梗概  
「用漢語来読村上春樹文学－試探村上思想所構成的“生”」大連外国語大学『東北亜外語研究』編集部編『莫言与村上春樹比較研究国際学術研討会』梗概集p16 (2014年10月)

## 萩原孝恵

### 1. 論文

- (1) 単著「依頼場面におけるプラスとマイナスの表現形式」『日本語教育と日本研究における双方向性アプローチの実践と可能性』第9回国際日本語教育・日本研究シンポジウム大会論文集編集会(編)、2014年11月、pp. 281-293. ココ出版.

### 2. 発表

- (1) 萩原孝恵、カノックワン・L・片桐、池谷清美「タイ人日本語学習者の話しことばコーパス構築に向けて」(ポスターセッション)、第9回話しことばの言語学ワークショップ、2014年9月5日、大阪大学豊中キャンパス.

### 3. 研究活動

- (1) 分担「タイ人日本語学習者の学びを支援する－書く能力・話す能力向上に向けたICT活用と日本語教育のコラボレーション－」2014年4月-2017年3月、青山学院大学総合研究所プロジェクト.
- (2) 共同「よりよいコミュニケーションのための相槌や受け答え」日本語OPI研究会研究班.
- (3) タイ人日本語学習者35名の日本語口頭能力判定、2014年4月-5月.
- (4) 第9回話しことばの言語学ワークショップ主催「書き起こし講習会」受講、2014年9月4日、大阪大学豊中キャンパス.

## 4. 社会活動

- (1) 国際交流基金日本語国際センター OPI テスター業務委嘱「平成26年度海外日本語教師長期研修のための日本語会話能力判定テスト」OPI実施及び判定・セカンドレイティング、2014年9月10日、国際交流基金日本語国際センター.
- (2) JUNTOS主催「外国につながるのある子どものためのプレスクール指導者・ボランティア養成講座」コーディネーター、2014年9月13日-14日、山梨県立大学飯田キャンパス.
- (3) JUNTOS主催「外国につながるのある子どものためのプレスクール」2014年11月-2015年1月(計10回)、山梨県中央市玉穂総合会館.